

## 平成23年度事業計画

### 1 基本方針

県民共有の財産である恩賜林は、明治末期に相次いで発生した大水害の復興に役立てるよう、明治44年に御下賜されました。

以来、恩賜林は、多くの先人たちのたゆみない努力によって守り、育てられ、県土の保全、木材の供給、水源のかん養などさまざまな役割を担いながら、県政の発展や県民福祉の増進に大きく貢献し、平成23年3月に100周年を迎えました。

このため、恩賜林の果たしてきた役割や歴史を再認識し、多様な公益的機能を有する森林を県民全体で守り育て、次の世代に引き継ぐための契機となるよう、「恩賜林御下賜100周年記念事業」を実施するとともに、記念事業を通じて、森林の大切さや山梨の素晴らしさを県内外に発信していきます。

本年は、御下賜100周年の年として、3月11日の記念式典を皮切りに、1年を通して県内外の多くの方が参加する様々な事業を実施するとともに、皇族の御臨席を仰ぎながら御下賜100周年を祝う記念大会を盛大に開催します。

### 2 事業計画

#### (1) 実行委員会の開催

##### 第1回

日時 平成23年4月15日（金）

会場 恩賜林記念館大会議室

議題 平成22年度事業報告

平成22年度収支決算報告

平成23年度事業計画（案）について

平成23年度収支予算（案）について

#### (2) 式典

##### ○ 恩賜林御下賜100周年記念大会

皇族の御臨席を仰ぎながら、御下賜100周年を祝う記念大会を開催し、恩賜林を守り育ててきた多くの方々を顕彰するとともに、未来に向けてメッセージを発信します。

・時期 平成23年秋

・会場 コラニー文化ホール（県民文化ホール）大ホール

### (3) 記念行事

恩賜林の歴史や、森林の恩恵、森林を守り育てることの大切さなどについて理解を深めるため、県民参加型の行事を実施します。

#### ① 記念植樹

次の100年に向けた森づくり活動のスタートとして、多くの県民に参加をいただき、親子三世代による記念植樹を行うなどの森づくり活動を実施します。

- ・開催日 平成23年5月14日（土）
- ・場 所 北杜市大泉町内県有林

#### ② 恩賜林の歴史展

恩賜林への理解を深めるため、県立博物館と共催で、100年の歴史等を写真や資料等で振り返る歴史展を開催します。

- ・開催期間 平成23年5月21日（土）～6月27日（月）
- ・場 所 県立博物館

### (4) 関連事業

100周年を記念し、森づくりの意義、森の魅力などを伝えていくための事業、山梨の森づくりを県内外に発信していくための事業に取り組むとともに、広く県民が参加できるよう、記念事業の基本理念に合致する既存の事業と連携して、記念事業を盛り上げていきます。

#### ① F S C森林サミット

環境に配慮した県有林の管理経営を広く発信するため、F S Cジャパンと共催で、国内外の有識者、全国のF S C認証取得者、関連事業者等が一堂に会するサミットを開催します。サミットでは、講演会、事例報告会、シンポジウム、県有林見学会などを行います。

- ・開催日 平成23年9月10日（土）、11日（日）
- ・場 所 県立大学池田キャンパス

#### ② 広報PR事業

多くの県民に御下賜100周年を周知するとともに、森林に対する理解と関心を深めるための広報PRを実施します。

##### ア テレビ特別番組の放映

恩賜林の歴史や森林の大切さ等への理解を深めるとともに、森の魅力を紹介するため、テレビ特別番組を放映します。

イ 恩賜林の歴史を紹介する小冊子の作成、配布

次代を担う子どもたちに、恩賜林の歴史を分かりやすく紹介し、関心を持ってもらうため、小学生向けの小冊子（漫画）を作成して県内の小学校等に配布します。

ウ 新聞記事及びポスター等によるPR活動

恩賜林の歴史や御下賜100周年の周知を図るため、新聞記事を掲載するとともに、ポスター等を作成し、公共施設等の多くの人が訪れる場所に掲示します。

③ 県民自主企画応援事業

100周年の周知と気運の醸成を図るため、県内の民間団体が企画実施する森づくり等のイベントに対して、経費を助成します。

- ・助成先 県内の民間団体等（営利目的のものを除く）
- ・助成額 20万円を上限（1団体あたり）

④ 林業まつり「森林のフェスティバル」への出展

多くの県民が訪れる林業まつり「森林のフェスティバル」において、恩賜林の歴史や県有林の取組みを紹介するとともに、木とのふれあい体験などの普及啓発を行うブースを出展します。

- ・開催日 平成23年10月15日（土）、16日（日）
- ・場 所 小瀬スポーツ公園

(5) 記念プロジェクト（県事業）

100周年を記念して、恩賜林の意義を未来に伝え、利用者が森林を身近に感じ親しむ機会を提供するため、「武田の杜」の中の健康の森を中心としたエリアを、県内外からさらに多くの人を訪れる魅力ある森林公園として再整備